

吉良川支所管内より



凹凸コンビぴよ!

ソラピーくん(7ヶ月)
ハッピーくん(7ヶ月)
飼い主: 吉井 美智子さん

『吉井家の凹凸コンビ』パワー全開でやんちゃなソラピーくんと、とっても大人しいハッピーくん。性格は真逆ですが、昼間はズーっとこの距離で過ごしているほど実はとっても仲良しなんです。お昼寝も一緒にタイミングで目を閉じます。寝言で「ソラピー、ハッピー」なんてお喋りまでしているそうです。どんな夢を見ているのかな

共通点は飼い主の美智子さんのことが大好きな所で、取材中も美智子さんの肩にぴったりと引っついて離れません!最近驚いた事は、美智子さんがテレビに夢中になっていて知らない間に肩に乗っていたことなんですって。「おりよってよ」と言われるとソラピーくんもハッピーくんもピクリとも動かずに、じーと待っているほど美智子さんへの愛が止まらない2羽の純情な姿にとっても癒されました。

満点笑顔でハイチーズ!

阿部 結花ちゃん(9)

手作りのカラフルな傘を広げてにっこり可愛い笑顔を見せてくれた結花ちゃん。今は、シェリーメイのクマのぬいぐるみが一番のお気に入り☆ 寝る時もずっと一緒です。

結花ちゃんの名前の由来は、「人と人を結ぶ、縁を繋げるといように、人との良き出会いを繋げたり、人生において沢山良き出会いをして人の役に立てるような人に育ってほしい」という願いを込めて、ご両親が名付けたそうです。そんな由来通り、いつもひょうきんで明るく、自然に周りを笑顔にしてくれるような家族のムードメーカーの結花ちゃん。取材中に見せてくれた満点笑顔にもとっても癒されました!

普段は、子供会の卓球クラブに入っていて夏の全国大会に向けて、日々練習を頑張っています。クラブが休みの日には、祖父の米一朗さんの畑へお手伝いに行ったり、自然豊かな北川村での暮らしを楽しんでいます。

母・里美さんは「今のまま、元気で素直な子に育って欲しい。1つだけお願いをするなら整理整頓をちゃんとできるようになってほしいな」と願っています。結花ちゃん頑張れ〜!

北川支所管内より



安曇地区 から こんにちわ 今月の○○ 気になる人

あき北支所管内より



孫とキャッチ&イート (食べる釣り人)

小松 則明さん(71)
山本 洋くん(8)

年金支給時から、簡単に始められるルアー釣りにのめり込んでしまったという則明さん。

「私の場合は、自分で釣った魚はキャッチ&イート」と、さばいて焼いたものを煮つけにして甘露煮で食べるのが定番。今まで釣った大物は、56cmのヒラメや70cmオーバーのメジロ。取材している最中にも運よく20cmのウグイをゲットし、お孫さんの洋君も「おじいちゃんの釣りゆう姿、カッコいい」と大喜びでした!

そんな釣り好きの則明さんですが、釣りをきっかけに興味を持ったという木の伐採も趣味の1つです。3年前に釣りをしている時、川の傍にある杉の木の陰で光が差さず水生生物が居なくなり、魚が少なくなっていることに気付いた則明さん。林業にも携わっていたことがあり、杉の木を伐採し、そこに山桜や紅葉を植えて手入れを始まりました。「いつの間にか木の伐採や手入れをしている時間が釣りをしている時間より増えていた」と新たな趣味にも意欲的です。

農業は僕にとって天職

高橋 泰斗さん(31)

富山県で育った泰斗さん。子供の頃から観葉植物を育てるのが好きで、アパートのベランダで育てていました。その頃から、いつかは好きなように育てられる自分の庭が欲しいと思っていたそうです。そのために興味のある農業について学べる大学を探し、高知大学農学部へ進学。大学卒業後も農業について多く触れる中、本格的にやりたいという思いが強くなり、先輩農家のもとで2年間研修した後、サポートハウスで3年間技術を身に付けました。

現在は、一人で18.5アールのレンタルハウスでナスを栽培しています。「今の仕事は趣味の延長で自分にとって天職です」と、時間があればハウスに行くなどとても熱心です。いずれはトマト栽培にも挑戦し、将来は研修生を受け入れたいという新たな思いを胸に、今日も歩みを進めます。

田野支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 地区本部

ジビエ料理に挑戦



西村さんからお弁当の作り方を教わる部員

女性部は6月11日、安芸市で「女性大学ときめき学園」を開き、部員や地域住民28人が参加しジビエを使ったお弁当作りに挑戦しました。ジビエ料理講師の西村直子さんを講師に招いて、イノシシチャリハイピン（和風の甘酢あんかけ）やシカの中風風サラダ、シカそぼろおにぎりを作りました。部員は「調理方法が簡単だったので家でも作ってみたい。食べるのが楽しみ」と喜びました。

3 地区本部

軽トラマルシェへ参加 特産品をPR



「ピーマンの詰め放題」を楽しむ来場者

「なすっこ組」は6月26日、安芸市で開かれた「第1回安芸本町商店街「軽トラマルシェ」」へ参加。来場者へ生産量日本一のナスを使った特産品をPRしました。メンバーは、「ナス餃子」や「ナスとじゃこのかき揚げ」などの販売に加えて、ピーマンやミョウガの詰め放題を行いました。なすっこ組代表の清遠みかさんは「詰め放題が好評で、1時間ほどで売り切れ、反響があつて嬉しかった」と話しました。

6 吉良川支所

「キラ坊すいか」今年も良好



スイカを丁寧に磨く島本さん

室戸市吉良川町の西山台地で6月、ラグビーボール形のスイカ「マダーボール」の収穫が最盛期を迎えました。収穫した中でも、糖度が高く、重さ24kg以上のものが「キラ坊すいか」のブランド名で知られています。今年も天候も良好で大玉傾向で例年通り甘くておいしいスイカに仕上がりました。生産者の島本次郎さんは、朝に収穫したスイカを1玉1玉磨き、サイズ分けして出荷に備えていました。主に「道の駅キラメッセ室戸 楽市」や「とさのさと」で販売しました。

4 安田支所

青壮年部員がタニシ駆除



捕獲数を確認する竹内支部長

青壮年部安田支部は6月24日、安田町でジャンボタニシの駆除活動に取り組み、部員21人が参加しました。部員は、町全域に分かれて水田や水路を巡回し、2時間ほど作業しました。竹内義隆支部長がナスを入れたザルを針金で水田に沈めた仕掛けを設置しました。竹内支部長は「去年よりも捕獲数が少なくなっているのが成果が出ている。今後もみんなで青壮年部活動を続けていきたい」と話しました。



安芸中学校1年生に出前授業



安芸第一小学校3年生がナスを収穫



赤野小学校1・2年生がナス料理試食



下山小学校1～6年生が料理講習

安芸市施設園芸消費拡大委員会は6月、安芸市内の小学校でナスの収穫体験や出前授業、料理講習会を開催しました。今年は7校178人の児童らが授業を通じて、地域農業に触れました。児童らは、生産者から収穫方法を教わると、ハウス内のナスを選びながら収穫を楽しみました。

出前授業では、ナス栽培の流れや天敵昆虫を利用した安全・安心な野菜作りなどを学びました。出前授業を聞いた児童からナスのお勧めの料理について質問があり同委員会が制作した「なすダム」の動画のレシピを紹介しました。

1 地区本部

高知ナスに親しみを・生産者と児童の交流



自慢の野菜などをPRする委員会メンバー

2 地区本部

安芸市の野菜で免疫力アップだ便 大好評！ 初日で完売

安芸市施設園芸消費拡大委員会は6月10日から、同市産野菜の詰め合わせ「高知県安芸市の野菜で免疫力アップだ便 第3弾」の販売を開始。SNSや高知新聞でPRしたところ、先着150名分がわずか1日で完売するほど好評でした。同便は、新型コロナウイルスス下に、家庭で安全・安心な野菜を食べて健康に過ごしてもらおうと2年前に企画。委員会のメンバーが栽培したナス、ミョウガ、ピーマン、トマト、ミョウガ、なすのパウンドケーキの詰め合わせに加えて、ユズ農家が開発に加わったユズを使用したミツカンのぼん酢「まっこことゆず」が新たに2000円（税込・送料込）。野菜メニューのレシピ本「まごとき」や「環境に優しい野菜作り」についての本も添えました。メンバーの川竹芳美さんは「今年から発売した『まっこことゆず』も加わったので、ぜひ家庭で安芸市の野菜にたっぷりかけて楽しんでほしい」と呼びかけました。

定植期の栽培管理

ナス



安芸営農経済センター
営農指導課
芸東ブロック
田中 瑞穂

暑い日が続きます。こまめな水分補給と塩分摂取で熱中症対策を行い、体調管理に気を付けて日々の栽培管理に努めましょう。

【定植期の管理】

9月中旬までは、気温・地温とも高い時期です。蒸発散量は激しく、根の伸長が十分でないためどうしても萎れやすく、ひどい萎れは生育が止まってしまいますので、次の対策を実施しましょう。

① 高温対策

8月定植ではハウス内の温度が高くなりすぎるため、定植4～5日前から遮光資材を設置するなどして温度を下げ、晴天日が続く場合は活着まで遮光します。活着後は生育状態を見ながら徐々に透かし、光に慣らします。細霧装置があるハウスは稼働させます。

② 畝の乾燥防止・地温上昇抑制
畝にはバーク堆肥、そば殻、白黒マルチなどの資材で被覆し、通路へはもみ殻などを敷きます。

【定植・灌水】

本圃は定植数日前から十分灌水して、植穴の底まで湿らせておきます。

8月末までの早期定植や、特に9cm鉢の場合は鉢土が少なく乾燥などにより根痛みしやすいので、朝夕の気温が低い時間帯を選んで、速やかに定植します。

定植後は、速やかに根鉢とその周辺に手灌水をします。灌水不足は活着が遅れる原因となるので、定植後7日～10日頃までは手灌水と自動灌水を併用します。

【病害虫防除】

※灌水が多すぎても根張りが悪くなったり、根腐れによる青枯病などの発生要因となるので注意しましょう。

近年、定植後のヨトウ類の被害が多くみられるようになってきました。これは農業抵抗性の発達により、防除が困難になってきていることが要因の一つです。防虫ネットやフェロモン剤を上手く組み合わせる防除しましょう。
(令和5園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ資料8、資料11参照)

果実肥大期の管理

カンキツ



安芸営農経済センター
営農指導課
山影 学

日中の熱い時間帯の作業を避け、熱中症に注意し、高温乾燥対策を実施しましょう。

【仕上げ摘果】

この時期の摘果は一果当りの葉数を、早生温州では30～35枚、普通温州は20～25枚、土佐文旦では80～90枚、ポンカンでは80～100枚、ユズでは正常な樹は100枚、樹勢の弱い樹では120枚程度を目安とし、果実の肥大状況や夏枝の発生状況を見て摘果を行ないましょう。

【日焼け果対策】

曇天で多湿状態を経過した後、急に温度が高くなり、日差しが強くなると日焼け果の発生が増加します。これは、日照不足により果皮が軟弱になりやすく、その後の急激な蒸散の増加に対応できない為と考えられます。

特に、上向きの天成り果や果梗枝の太い果実などは日焼けを生じやすいので、できるだけ摘果しましょう。
土壌の乾燥対策として、降雨が14日以上ない場合は、1樹当たり200リットル程度の灌水が必要です。灌水後も乾燥が続く場合は、7～10



日焼け果



ホウ素欠

日おきに降雨があるまで継続します。また、土壌の乾燥対策として完熟堆肥やケイントップなどの施用や遮光の為に、果実にサンテ（白）をかけると日焼け軽減に効果があります。

【ホウ素欠乏症】

7～8月の高温乾燥期にはホウ素欠乏症が発生しやすくなります。ホウ素欠乏症の特徴は、果実の肥大が鈍くなり、果実表面が黄化したり、果皮内にヤニのようなものができたりします。敷きワラや灌水等で乾燥を防ぐとともに、ホウ素入り資材（ソリボーやマルボロンなど）の葉面散布や土壌施用を行うと効果的です。ただし、過剰に吸収しすぎると、過剰症が発生し易いので注意しましょう。



えいのう～

振興センターだより

安芸農業振興センター08871340138

労働安全の取り組み ルールを守ったトラクター操作について

行弘 恵

「よりよい農業を実践する」ために、JA高知県安芸地区では以前からGAPの取り組みを推進してきました。その内容は農業を持続して行うために必要なことで、項目には「食品安全」や「環境保全」などがあります。

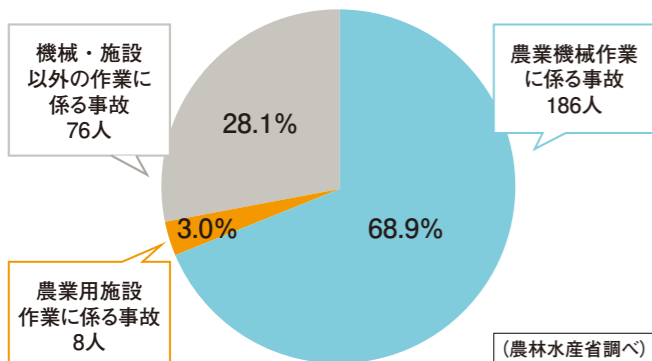
その原因は、農業機械作業によるものが最も多く、その中でもトラクター（乗用型、歩行型）による死亡事故数が毎年最も多くなっています。（左グラフ）

またGAPで取り組むべき重要な項目に「労働安全」があります。農業は機械類を利用する場面が多いので、正しく使わないと事故につながり、生命の危険や、そこまで至らなくても農業を続けることができない大ケガを負うことになってしまいます。そこで、ルールを守った正しい機械類の使用を心がけましょう。

◆要因別の死亡事故発生状況

毎年農作業事故について調査し、死亡事故の原因を集計しています。年度によって若干の増減はありますが、毎年約300人の方が亡くなっています。

要因別の死亡事故発生状況(令和2年)



◆トラクター操作時の注意点

トラクターによる事故の半数は転倒または転落による事故と言われています。気をつけて運転する他にも、装備があれば正しく使用しましょう。

- ① 転倒防止対策に安全フレームや安全キャブを装備し、併せてシートベルトやヘルメットを着用する。② トラクターに安全フレームを装備したら、移動時と作業時に必ず使用する。③ 作業時以外は、左右のブレーキペダルを連結ロックにする。④ 急な坂道や狭い道の路肩の走行時は、速度を落とす。⑤ 必ず両手でハンドルを握る。⑥ 子供をトラクターに乗せない。

◆トラクターが公道を走るときはルール
作業機を装着・けん引したトラクターが公道を走るには、守らなければならぬルールがあります。複雑ですがしっかり守ることで事故を防ぐことができます。

●時速15km以下で走行するとき

作業機への灯火器類等の設置が義務づけられています。また幅17m以上の大きさになった場合は大型特殊免許の所持が必要です。幅が25m以上になった場合は特殊車両通行許可の申請が必要になります。なお、幅というのは作業機をつけた状態で、高さまたは幅のどちらか大きい方の長さのことです。

●時速15km以上で走行するとき
作業機への灯火器類等の設置、大型特殊免許の所持、作業機を装着した状態での安定性の確認すべてが義務となります。

また北海道、九州、沖縄以外の地域では、作業機をつけたまま時速35km以上で走行できません。
以上のルールは一例です。詳しいルールは農林水産省や日本農業機械工業会ホームページなどで確認するようにしてください。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「うちんくの台所」メニューが品増えますね。

(あき東支所・77歳)

▼「うちんくの台所」のメニューは、簡単に作れる美味しい料理を掲載しています！旬の食材で何か作りたい、もう一品あったら・・・等々、みなさんのお役に立つ「食卓の一品」になったら嬉しいです。

今月の牛乳活用レシピ、大変参考になりました。さっそく、豆腐と根菜の和風グラタンを作りました。とっても家族に好評でした。

(あき北支所・75歳)

▼早速、牛乳レシピを活用いただいてとっても嬉しいです！普段、身近にある牛乳が、和風にも洋風にもなる事に驚きました。私も和風グラタン作ってみようと思います。

夏になるとスイカが食べたくなります。でも、今年キラメッセ室戸のキラ坊すいかは予約しないと買う事ができません。とても残念です。

(室戸支所・59歳)

▼今月号の記事にキラ坊すいかの記事を載せていますが、今年には特に出荷数が少なく残念です。

最近の「こうぐり」が楽しみです。色んな料理のレシピや高知で作られている花々など楽しみがいっぱい。花はストレス解消で家の中を花で飾っています。

(室戸支所・75歳)

▼いつも「こうぐり」を愛読いただき、ありがとうございます！みなさんの、新しい出会いの場になれば嬉しく思います。これからもリクエストや感想などがあれば、どんどんお寄せください！

広報のつぶやき

今月の「こうぐり」裏紙「こうグラム！」は安芸地区が担当となり、私が取材中に撮ったお気に入りの4枚を掲載しています。

生まれて初めて訪れた東洋町。ポンカン畑を軽トラで駆け巡って農家さんにポンカンのあれこれをいろいろと伺っていると、つい食べたくなり、教えてもらった海の駅でポンカンのジャムを購入。家に帰ってヨーグルトにかけて食べると、おいしくて感動したので、すぐにストックを買いに行き2つ目をゲット！次は、冬の旬の時期に東洋町を訪れてポンカンの果肉を食べるのが今から楽しみです。

ぜひ、東洋町に行つた際には食べてみてください！

(恒石)



(安田支所 61歳)

6月号、表紙のホルスタイン種にそっくりです！素敵な絵をありがとうございます。

直販所「なぎの市」閉店のお知らせ

平素より直販所「なぎの市」をご利用いただきありがとうございます。

誠に勝手ながら、令和4年7月12日(火)を持ちまして、閉店することとなりました。

開店以来17年間のご愛顧、誠にありがとうございました。

関係者一同



税務相談日 令和4年8月17日(水)

会場 あき支所3階

時間 10:00 ~ 16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515